

トルコの 翌日物貸出金利の引き下げについて

ポイント① 翌日物貸出金利を9%に引き下げ

トルコ中央銀行は6月21日の金融政策決定会合で、市場予想通り、市場金利の上限となる翌日物貸出金利を9.5%から9%に引き下げました。主要政策金利である1週間物レポレートは7.5%に、市場金利の下限となる翌日物借入金金利は7.25%に、それぞれ据え置きました。

翌日物貸出金利の引き下げは4会合連続となります。政策金利のコリドー幅（上限金利と下限金利の差）は、導入以来最小となりました。

ポイント② ショックへの経済の耐性の強まりが背景

今回の翌日物貸出金利の引き下げ決定について、同中銀は、前会合と同様、これまで実施してきた政策により、外的ショックに対する同国経済の耐性が強まっていることなどを理由として挙げています。3つある政策金利を最終的に一本化していく「単純化」を計画に沿って、引き続き進めていくとしています。また、今回の会合に先立って、同国のエルドアン大統領が投資拡大のためには低金利が望ましいと発言していました。

5月の消費者物価指数上昇率は前年同月比で6.58%となり、前月と同程度となりました。同中銀の目標とする5%を依然として上回っていますが、非加工食品価格の落ち着きやコアインフレ率のトレンドの改善などにより、ここ数か月、伸び率の低下が続いています。

ポイント③ トルコリラは対米ドルで小幅な値動き

6月21日の外国為替市場（ニューヨーク時間17時頃）では、トルコリラは対米ドルで前日比0.1%程度のトルコリラ安、対円で同0.6%程度のトルコリラ高となりました。

米国が早期追加利上げに対して慎重な姿勢を示している中、英国のEU（欧州連合）離脱を巡る国民投票を控えていることなどから、トルコリラは対米ドルで小幅な値動きとなりました。

図1：政策金利の推移

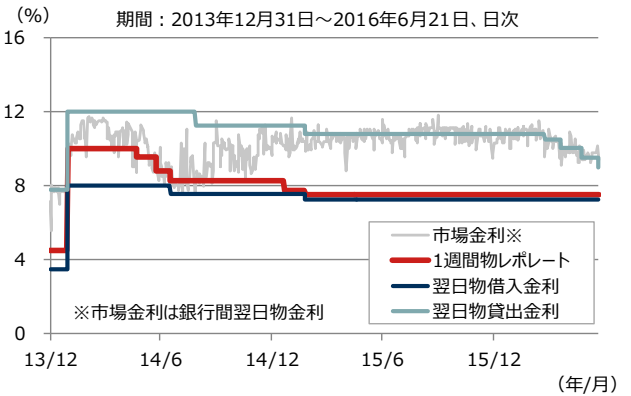


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

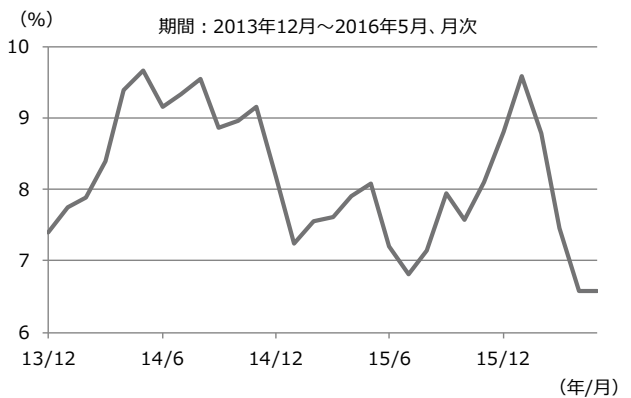


図3：為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

7月4日 消費者物価指数（6月）
7月14日 経常収支（5月）
7月19日 金融政策発表